

平成 23 年 3 月 17 日

各位

帯広信用金庫

帯広信用金庫の CO<sub>2</sub> 削減に対する取組みについて

当金庫は「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」という経営理念を具現化する取組みの一つとして、店舗への省エネ設備導入等による地域住民・地域環境との共存・共栄を推進しております。このたび、環境保全への新たな取組みとして下記の 3 事業を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

当金庫の国内クレジット制度への参加

CO<sub>2</sub> 削減事業者としての「<sup>こ</sup>どさんCO<sub>2</sub>・クレジット・ポート」への参画

「おびしん・<sup>こ</sup>どさんCO<sub>2</sub> ファンド」の創設

後掲の上記 ~ の補足説明、資料 1~2 をご参照ください。

以 上

本件に関する照会先	帯広信用金庫地域経済振興部 担当 原口 0155-23-7590 (直通)
-----------	---

## 《補足説明》

### 当金庫の国内クレジット制度への参加

今般、当金庫は中央支店と柏林台支店の地中熱源ヒートポンプ新設による省エネルギー事業を、国内クレジット制度の排出削減事業（削減量の売り手）として平成 23 年 3 月 23 日に申請いたします。本事業計画が承認された場合、当金庫は金融機関では全国初の排出削減事業者となる見込です。なお、本事業計画における共同実施者（削減量の買い手）は㈱イースクエア（本社 東京）です。

### CO<sub>2</sub> 削減事業者としての「どさんCO<sub>2</sub>・クレジット・ポート」への参画

財団法人北海道環境財団等は、北海道内の国内クレジットにおける課題を解決する目的で、平成 23 年 2 月 28 日「どさん CO<sub>2</sub>・クレジット・ポート」を創設しました。当金庫はその理念に賛同し、本スキームに参画いたします。

なお、「どさんCO<sub>2</sub>・クレジット・ポート」への関与

形態は、資料 1「売り手としての帯広信用金庫」をご参照ください。

当金庫は中央支店と柏林台支店の排出削減量を本スキームに持ち込むことで、オール北海道での優良案件の創出に寄与したいと考えています。

### 「おびしん・どさんCO<sub>2</sub>ファンド」の創設

国内クレジット制度においては、中小企業等の削減事業者（売り手）と共同実施者（買い手）にて連名で申請することになっています。

しかし、十勝管内の中小企業等において買い手を探すことが困難であることから、当金庫では「おびしん・どさんCO<sub>2</sub>ファンド」を創設して、十勝管内の排出削減量の買い手としての先導役を果たすとともに、地域貢献を果たしていきます。（本ファンドの仕組みは資料 2「買い手としての帯広信用金庫」をご参照ください。）

本ファンドを通じて、十勝管内の中小企業等の CO<sub>2</sub> 削減の取組を促進するとともに、十勝管内の中小企業の取組の見える化を行っていきます。

なお、国内クレジットにおける金融機関としてのファンド創設は全国初となります。

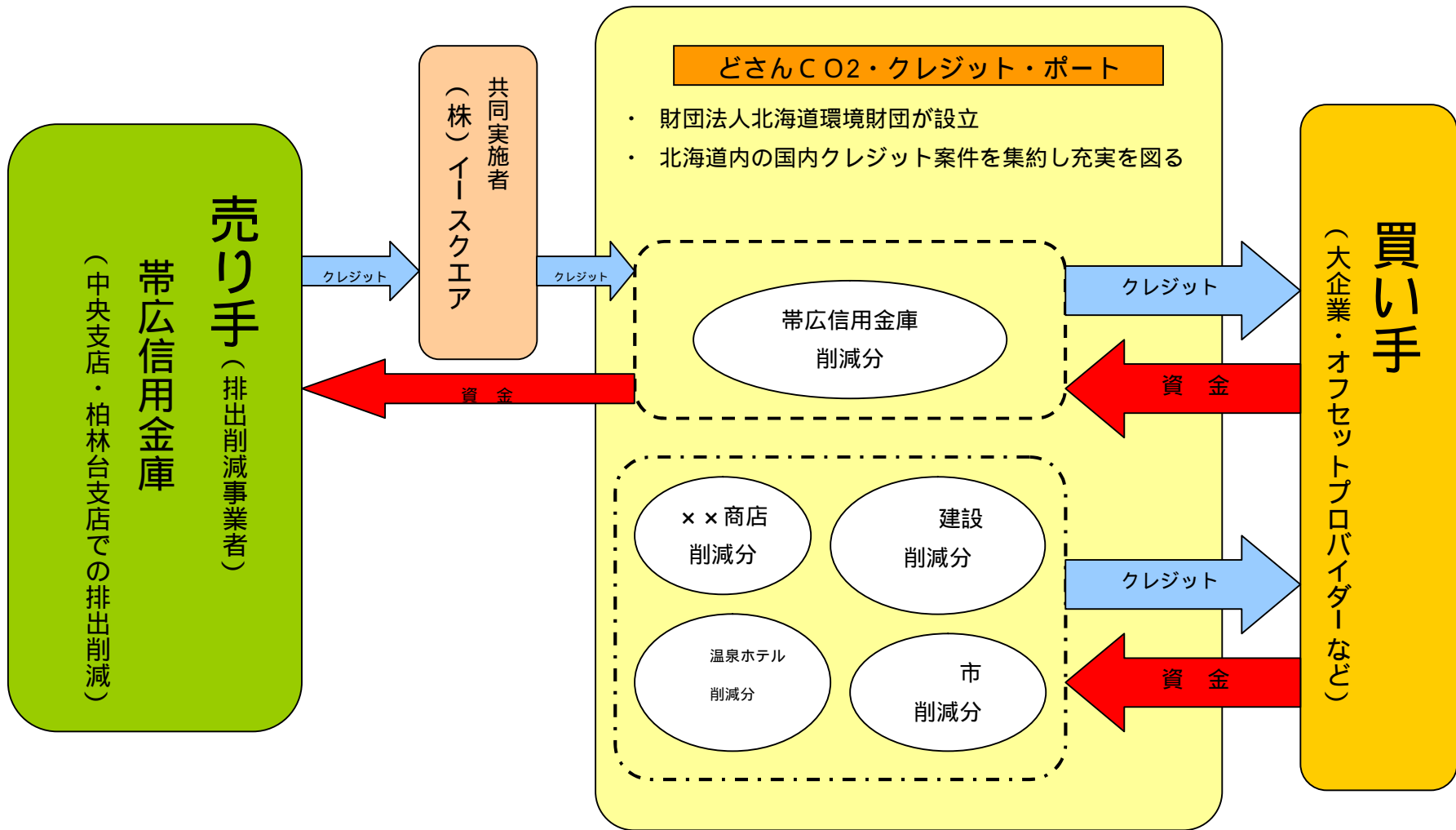
### 【「おびしん・どさん CO<sub>2</sub> ファンド」の概要】

買取対象：十勝地域の中小企業等による平成 22～24 年度の CO<sub>2</sub> 削減量

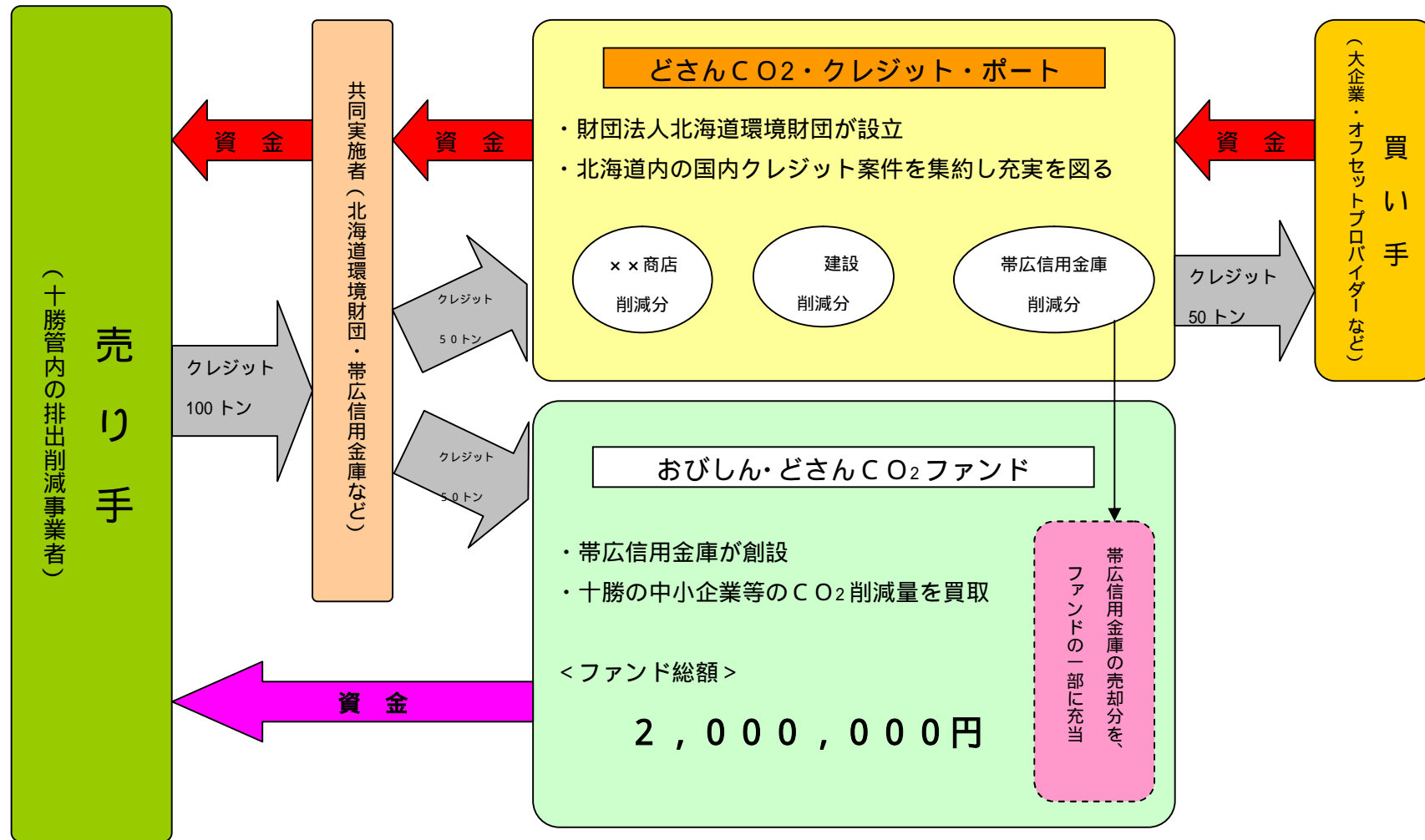
買取上限額：総額 200 万円

# 「売り手としての帯広信用金庫」

資料 1



# 「買い手としての帯広信用金庫」



(例) 売り手の削減量 100 トンを「どさんCO<sub>2</sub>・クレジット・ポート」と「おびしん・どさんCO<sub>2</sub>ファンド」で各 50% 購入した場合